

令和8年度 中国地区ソフトテニス選手権大会 競技上の注意

2026年5月23日（土）・24日（日）

松江総合運動公園松江市営庭球場

1. 本大会競技は（公財）日本ソフトテニス連盟（以下「日本連盟」という。）発行の、ソフトテニスルールブック記載の競技規則で行い、マッチは全て7ゲームとする。
2. すべてのマッチを「コイントス」とする。
※マッチ開始前の挨拶が終わった後のサービス、レシーブ又はサイドの選択は、副審がコインのA面とB面を双方のプレーヤーにそれぞれ示し、コインを投げる。A面が上になった場合は正審の右側のペアが、B面が上になった場合は正審の左側のペアがそれぞれ先取権を得る。なおトスは進行の都合により、事前に大会本部等コート以外の場所で行う場合がある。
2. 使用球は、23日（土）ケンコーボール、24日（日）アカエムボールとする。
3. 試合前の練習時間は1分以内とするが、進行状況等の都合で省略する場合がある。
4. コート割り及び進行については、原則としてコート割・進行表（別紙）のとおりとするが、進行の都合等により変更する場合は放送で指示する。
5. 審判については、原則として選手審判とし、コート割・進行表（別紙）に記載のとおりとする。
 - ・各コート第1試合は、本部指定の選手で行う。
 - ・各コート第2試合以降は、原則として、前の試合のペアから1人ずつ出で行う。
ただし、45歳女子については、コート割・進行表（別紙）に記載のペア（一部本部審判あり）で行う。
 - ・決勝トーナメントについては、原則として、そのコートの前の対戦の敗者が審判をする。
 - ・審判にあたる際は、ワッペンを左胸に着用し、イエローカードを携行する。
6. 勝者は、スコアシートを確認し、勝者サインをして、大会本部（進行）に提出する。
次の対戦があれば大会本部（進行）からその場でスコアシートを渡すので、コートへ持参する。
7. ベンチは、プログラム番号の小さいペアを審判台から見て左側とする。
8. 次のマッチの選手は、前のマッチが開始されたら速やかに試合コート付近で待機する。
原則として選手の呼び出しは行わない。（15分を過ぎた場合は失格とみなす。）
9. ゼッケンは日本連盟指定のものを背部に着用し、4隅を必ず止めること。
10. ユニフォームは、日本連盟が公認したメーカーの製品で「ユニフォーム等の着用基準について」（令和4年4月1日 改訂）を遵守した製品を着用すること。
但し、この大会に限り次に記載の全てを認める。（日本連盟が公認したメーカーの製品に限る。）
 - ・長袖ゲームシャツ、セーター、長ズボン
 - ・アンダーウェア上下〔長袖及びロングスパッツを含む〕
 - ・手袋及びアームカバー
※顔全体が隠れるフェイスマスク等上記以外を着用する場合は、事前に大会本部へ申し出ること。

- 1 1. 選手の健康面を考慮し、チェンジサービス時（2・4ゲーム終了時）及びファイナルゲームのチェンジサイズ時の給水を認める。その際、選手は給水用の容器等を予め審判台の下に置いておき、審判台付近において短時間で給水をとること。なお、給水中の打ち合せは認めない。
- 1 2. タイムについて
競技規則第39条第1号（突発的な身体上の支障）以外の理由でテニスコートを外れる場合は、必ず正審の許可を得る。（例えば、急なトイレ、ガットが切れたためのラケットの交換等）
- 1 3. 再判定について
再判定は、双方のペアもしくは何れか1名を審判台の前に集めて、正審から伝える事とする。
- 1 4. 選手がベンチに日傘を持って入ることを認める。ただし、黒あるいは紺系統の光を反射しないものとし、光沢のあるもの及び白色系は認めない。
- 1 5. 審判にあたる選手および大会運営役員が、日傘を使用することを認める。ただし、黒あるいは紺系統の光を反射しないものとし、光沢のあるもの及び白色系は認めない。※副審に関しては日傘の使用を禁止とする。なお、正審・副審とも「冷却機能を備えた衣類（クールポンチョやファン付きベスト等）」を着用することは差し支えない。